

# 野々市歴史イベント 秋季パネル展

## 「町から市へ-合併後の歩み-」

私たちの郷土である野々市市は、古くから連綿と人々の営みが続き、縄文時代の御経塚遺跡や白鳳寺院の末松廃寺が広く知られています。中世には加賀の守護所（富樫館跡）が置かれるなど、交通の要所として加賀の政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。

現代に入り、昭和30年から32年にかけて幾多の課題を乗り越えて、野々市町と富奥村の合併、郷村と旧押野村の一部編入によって新野々市町が誕生し、以降輝かしい発展を遂げてきました。

そして、平成23年11月1日には石川県下11番目の市として「野々市市」が誕生しました。今回は市制施行を記念して、合併・編入後の昭和30年代から40年代のなつかしい風景と、それを元に同じ場所、同じ角度から撮影した現在の写真を展示します。今と昔の写真を比較し、時の移り変わりを感じてみてください。